

# 高等学校における地域開放行事の実践報告 I †

—行事の背景と開催に至るまで—

米田 雅人\*・高島 章悟\*\*  
石川県立金沢向陽高等学校\*  
宇都宮大学教育学部\*\*

**概要** 2015年3月にこの企画の話を頂き、同年10月26日（月）にコンサートが実現した。チューバ演奏とピアノ連弾、そして朗読に美術作品。非常に稀な組み合わせであるため、本番当日に至るまで、何度も検討しながら準備を進めた。本報告では、コンサートまでの経緯と、主催者側、演奏者側それぞれが取り組んだ内容について述べる。

キーワード：高等学校、図書館、朗読、作品、演奏、コンサート

## 1. 石川県立金沢向陽高等学校とその図書館について

2015年3月14日の北陸新幹線開業に伴い、JRから経営分離された第3セクターの「IRいしかわ鉄道」が金沢～倶利伽羅間で開業し、1日あたり2万人が利用する幹線区間となっている。

本校は、IR森本駅から歩いて20分、金沢市大場町にある各学年4クラスの普通科単位制の高校である。そして校舎3階の東側に面した明るい場所に図書館がある。金沢の中心から離れており、近隣に市立図書館などの公立図書館がないため、週1回金曜日に図書館開放ということで地域の方にも開放している（資料1、地域300世帯に年度当初に配布するフライヤー）。

生徒そして地域のみなさんに図書館を広く開放し利用していただくことで、教養を深め、豊かで幸せな人生を送っていただけるようにと願って活動している。その結果表からもわかるとおり、ここ数年利用者は増加傾向にあり、担当者としては喜ばしく思っている（表1）。

## 資料1

平成27年4月  
学校図書館地域開放についてのご案内  
石川県立金沢向陽高等学校

本校では、地域の連携・交流の一環として、今年度も下記のとおり「図書館地域開放」を行います。  
身近な図書館として、2方眼に及ぶ蔵書をどうぞご利用ください。

**開放時間** 毎週金曜日 午前9時～正午まで（4/1よりはじめます）  
※いしかわ教育センター（112～6）も実施します。  
※年末、年度末の12月25日、1月1日、3月25日は休館日とします。  
※臨時に開放できない場合は本校職員立開館にその旨掲示します。

**ご利用方法** 事務室窓口で、本校者名簿に記入し、『入校許可証』をつけて、3階図書館にお越し下さい。初めて借りる方は貸し出し記入カードを作成しますので、身分を証明するもの（運転免許証・保険証等）をお持ち下さい。  
（1）1回の貸し出し冊数は3冊以内とします。  
（2）貸し出し期間は2週間以内とします。  
（3）開放日以外の貸し出しは行いません。開放日に返却できない場合は事務室に届け出願して下さい。  
（4）図書のお失及び破損については、返却としてお申し出いただけます。  
（5）コピーサービスは行っていません。

◇図書館ボランティア  
Eメール・SNS等で来から遠方からでも可能な高校生に、本の楽しさを伝える冊を共に考え、企画する。私たち職員とともにそのような活動をしていただけるボランティアスタッフを随時募集しています。

◇図書館行事  
地域の方々をお招きし、生徒と一緒に参加していただける行事を実施してまいります。随時、本校ウェブサイトまたは図書館にてご案内させていただきますので、ぜひぜひお聴きください。  
金沢向陽高校サイトホームページ URL: <http://www.ishikawa-u.ac.jp/~kyohyoh/>  
現時点で、7/13日国語理解『プラタム』、9/3(4)古本市in向陽館、10/26(月)図書館コンサート、12/14(月)冬の俳句講座です。また、日時未定で中が講座『数学ワタタツ』、『詩、作ってみよう』、金沢協定の学習会、そしてランチタイムイベントなども実施の方向で検討しています。

石川県立金沢向陽高等学校  
図書館（東田・横口）  
TEL: 258-2355  
FAX: 258-3592

表1

年度	生徒の利用者数	授業等での生徒利用者数	地域開放利用者数	合計数
2013	6,252	1,825	75	8,152
2014	5,821	1,694	95	7,610
2015	8,644	2,833	61	11,538

† Masato Yoneda\*, Shogo Takashima\*\*: Practice report of regional open events in High School I: Up to the background and the holding of events.

Keywords :High School,Library,Reading Aloud, A Musical Performance

\* Koyo High School,Kanazawa,Ishikawa

\*\* Faculty of Education,Utsunomiya University  
(連絡先: takashima @cc.utsunomiya-u.ac.jp)

## 2. 図書館イベント

このように、図書館の利用が増えている最大の要因は、図書館司書と生徒図書委員を中心とした日々の積極的な活動、つまり教員そして生徒、地域の方の要望を取り入れた購入図書の見直し、そしてその配置や紹介の工夫等があるからだと考えているが、もう一つがイベントである。読書会、図書館行事という枠で年2回ずつ取り組んでおり、効果があると考えている。その中から主な活動を紹介する。

### (1) 俳句講座と俳句コンテスト

高校時代から俳句甲子園に参加し、大学でも俳諧を研究した教員を講師に、俳句についての講義と同時期に俳句のコンテストを行っている。これまで2回の特選句を紹介すると、

夏の句 銀の水面見降ろす鳥よ夏の海

冬の句 這い上がる敗者の旅路冬の星

選者をうならせる作品が生徒から投稿されている。

### (2) 金沢方言詩の紹介と詩の朗読

本校教員の同人である詩人を招いての朗読会である(写真1、写真2)。

地域のおばあちゃんの肉声のように孫のことを語る方言詩に、「とても楽しかったです。子どもを育てていたときを思い出して胸がいっぱいになりました。」との感想も寄せられた。

その他、紙芝居劇場や地方民放アナウンサーによるアナウンス講座も行ってきた。

写真1



写真2



## 3. 図書館コンサート

そのイベントの中でも特筆すべきは音楽コンサートである。図書館が音楽?という質問には以下のようにお答えしている。

近年の図書館は、図書の閲覧のみならずメディアセンターとしての役割も重要となっている。とはいえ本校図書館は現在、動画のライブラリーもPCによる蔵書検索、インターネットの閲覧もままならない状態である。それゆえに、イベントにおいては読書会、朗読会、ビブリオバトルなどの書籍だけを用いたものに限らず様々なことに取り組み、メディアを活用することの大切さを伝えていきたいと考えている。

イメージの広がりがある音楽は格好の材料であり、必ず図書館にある本と連携を取りながら(必要ならば本を購入し)メディアミックス・ミックスカルチャーで行っている。その中で以下の2点を紹介する。

### (1) ハープの演奏と詩の朗読(写真3)

ハープをBGMに詩を朗読した。

写真3



### (2) 二胡の演奏と中国絵本の紹介(写真4)

二胡の演奏と交互に、図書館にある中国の絵本を紹介した。

写真4



#### 4. 主催者側から見る準備

そして今回ご縁があって、宇都宮大学教育学部准教授高島章悟氏に演奏していただけることとなった。

##### (1) アイデアの変遷

実施日の2015年10月26日に向けて年度当初から連絡を取り合った。チューバのソロで『ピーターと狼』などを演奏していただくというのはいかがか？というところからスタートした。

『ピーターと狼』より『動物の謝肉祭』の方がよい、そしてソロではなくピアノ伴奏がある方がよいということになった。そして、生徒による詩の朗読とのコラボレーションがよいとなった。

とても素晴らしい企画になりそうな予感がして、こちらから、たくさんのお客様にきてほしい、のみならずたくさんの生徒が参加者として関わる企画にしたいと提案した。高島氏に了解いただき準備を始めた。

##### (2) 委員会、文化部生徒の参加

以下のように、大変に充実した取り組みができ、学校長より「このような機会を生徒に作れたという意味でもとてもよかった。」と感想をいただいた。

##### ① 朗読

音楽に合わせて読まれる詩は、BL出版社の『動物たちの謝肉祭』（ジェームズ・ベリーほか、図1）が定番であるが、今回は本校教員が各動物の詩をひろく検索、選定してくれた。それぞれ1分以内をメドに抜粋して図書委員4名で朗読した。

図1 動物たちの謝肉祭



##### ② 生け花・イラスト

各曲のイメージに合わせた装飾があるとおもしろ

いのではないかと考え、華道部、美術部顧問と相談したところ、喜んで協力いただいた（写真5）。

写真5 華道部及び美術部（写真左から、ライオン、亀、象のイラスト、水族館）の作品



##### ③ 取材

本校には新聞部はないが写真部があるので、コンサートの様子を取材してもらった。準備が整い、いよいよ本番である。

#### 5. 演奏者側から見る準備

前に述べられているように、主催者側から『ピーターと狼』という提案がなされた。この楽曲について高島の視点で考えると、次の3つが問題となった。

- ① 図書館の空間で演奏可能な楽器編成であるか
- ② 学校のピアノを使用すること
- ③ 編曲にかかる期間

セルゲイ・プロコフィエフ作曲：子どものための交響的物語『ピーターと狼』作品67はナレーターと小編成のオーケストラのために書かれており、今日、小学校の鑑賞教室、子ども向けのファミリーコンサート、授業の鑑賞教材など幅広い分野で取り入れられている作品の一つである。楽器編成は以下の通りである。

フルート1、オーボエ、クラリネット1、ファゴット1、ホルン3、トランペット1、トロンボーン1、ティンパニ、トライアングル、タンブリン、シンバル、カスタネット、スネアドラム、バスドラム、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

高島は、①に関しては観客を入れてのこの編成は空間の許容範囲を超えていると判断した。②及び③に関してはオーケストラの編成ゆえに楽器の使用が多様であるため、編曲に膨大な時間を要することが見込まれた。本番当日までの期間を考慮し、今回のコンサートには適さないと判断した。

そこで、『ピーターと狼』のように朗読を交えた鑑賞教材として馴染みがあり、より室内楽の編成に近いことを条件とする楽曲を検索したところ、『動物の謝肉祭』に辿り着くことができた。

カミーユ・サン＝サーンス作曲：組曲『動物の謝肉祭』は全14曲からなっており、楽器編成は以下の通りである。

フルート（終曲でピッコロに持ち替え）1、クラリネット1、グラスハーモニカ（稀少楽器であるため、グロッケンシュピールやチェレスタで代用させることが多い）、シロフォン、ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

更に、全14曲におけるそれぞれの編成は以下のようになっている。

第1曲「序奏とライオンの王の行進」：ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第2曲「めんどりとおんどり」：クラリネット、ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ

第3曲「ろば」：ピアノ2

第4曲「かめ」：ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第5曲「ぞう」：コントラバス、ピアノ

第6曲「カンガルー」：ピアノ2

第7曲「水族館」：フルート、グラスハーモニカ、ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ

第8曲「耳の長い登場人物」：ヴァイオリン2

第9曲「森の奥に住むカッコウ」：クラリネット、ピアノ2

第10曲「大きな鳥籠」：フルート、ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第11曲「ピアニスト」：ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第12曲「化石」：ピアノ2、クラリネット、シロフォン、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第13曲「白鳥」：チェロ、ピアノ2

第14曲「終曲」：ピッコロ、クラリネット、グラスハーモニカ、シロフォン、ピアノ2、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

第8曲においてヴァイオリンのみで演奏される以外はすべてピアノが入っており、楽譜を見てみるとピアノが曲の伴奏的要素を担い、その他の単音楽器が旋律を中心とした動きとなっている。そこで、2人のピアノ連弾（1台のピアノを2人で演奏）とチューバの編曲に着手することとした。尚、実際に編曲、演奏された楽譜は次稿に譲る。

最後に演奏者の手配である。今回は2人のピアニストが必要であった。通常（チューバとピアノ）の練習とは違い、チューバと合わせる前に、連弾の練習に時間を要することから、高等学校が所在する石川県在住のピアニスト2名に依頼することとした。以前小学校の出前授業にて伴奏をしていただいた澤田加能子さんと、澤田さんよりご紹介いただいた徳力清香さんをお願いし、連弾による合わせの後チューバと合わせ、当日を迎えることとなる。

## 謝辞

本報告において、写真掲載にご協力いただきました詩人徳沢愛子様、ハーブ奏者荒井康之様、朗読荒井靖子様、金沢向陽高等学校教諭洞庭澄子先生、二胡グループ『タイタイズ』様、金沢向陽高等学校写真部、華道部、美術部の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 参考・引用文献

- 1) 高島章悟『小学校における金管楽器出前授業報告 I』, 宇都宮大学教育学部実践総合センター紀要, 2014年
- 2) サン＝サーンス『動物の謝肉祭』, 全音楽譜出版社, 1968年
- 3) エイドリアン・ミッチェル他『動物たちの謝肉祭』, きたむらさとし絵, 四元康祐訳, BL出版, 2007年

平成28年 3月24日 受理